

No. 2

発行者

富山県入善町議会

TEL 0765-72-1100

発行 入善町議会議長 嶋田久之
 編集 入善町議会だより編集委員会
 印刷 池原印刷所

入善町 議会だより



議案審議する本会議と傍聴者

六月定例会をふりかえって

入善町議会議長 嶋田久之

六月定例会は人一倍元気だった柚木町長が病気のため欠席することになったこと、新任の課長が多い関係もあって極端に緊張している当局と、これをいたわる議員たちとのアリケイトなムードの中で、六月二十四日に招集され四日間の会期で開かれました。

前例に依り議会は提出を予定されている議案の説明をうけるため、六月二十日に議員全員協議会を開きました。

総需要抑制という国策が推進される中で、地方自治体の財政も亦一層逼迫することが懸念されておりますが、六月議会に於てはかねてから全国市町村財政状況からみて、問題視されておりました国民健康保険税の増徴と子供をもつ母親達の関心深い町立保育所の保育料の増額等に、論議が集中することになったのは当然であったと思えます。当局は予定していた原案を再度充分検討した上で提案することとし、議会も亦県内のみならず全国的な範囲にまでも関係資料を収集して検討された国民健康保険特別会と、税で四十六％の増徴になどが大きく影響しているも引き続き相互扶助に依り新たにしたのであります。



私達の望んでいる福祉社会は、今後高福祉高負担という方向で推進されて行くようですが、年度内に於ける国保会計の増高は一般会計の繰出金を以てするといふ町当局の姿勢を高く評価すると同時にこの種の国庫支出金の大半増額を強く政府に要望したいと考えます。

以上は六月定例会の一コマでありましたが、住民サイドに立って真剣に議会活動をにつけていく議員各位並びに議会に対して引き続き建設的な御意見を御寄せ下さるようお願い致します。

酷暑に向います折柄、町民各位の御健康をお祈り致します。
 末筆になりましたが柚木町長は六月三十日、全快され元気で帰町致されました。

地方自治格言

○地方自治は民主主義の最良の学校である。そこでは人々は身近に、政治的な養育の訓練を受けることができる。

六月定例議会

入善町国民健康保険税条例一部改正及び入善町育英奨学金特別会計など十八議案を可決

●議案第四十八号昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第一号)共(三三〇〇〇)円を追加し総予算額二億九三三万二〇〇〇円とする。

●議案第四十九号工事請負契約について(入善漁港海岸保全施設整備工事)

契約の

工区別 契約金額 相手方

第一工区 金九三万円 滝本建設

第二工区 金三九三万円 高田建設

第三工区 金七四三万円 池原建設

●議案第五十号工事請負契約について(入善漁港改修工事)

契約金額 契約の相手方

金四五万円 広川建設工業㈱

●議案第五十一号入善町の職員の給与に関する条例一部改正について

●議案第五十二号低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例一部改正について

●議案第五十三号入善町国民健康保険税条例一部改正について
今回の地方税法及び同施行令の

改正に基づく関係規定の改正及び税収予算に見合う保険税を決定するもの。

入善町は従来所得割資産割均等割平等割の四方式で課税している(賦課割合次の通り)

昭和四十六年度	所得割	資産割	均等割	平等割
昭和四十七年度	二・八%	三・三%	三・三%	三・六%
昭和四十八年度	三・〇%	三・三%	三・三%	三・六%
昭和四十九年度	三・〇%	三・三%	三・三%	三・六%

●議案第五十四号都市公園の設置すべき区域について

都市公園の名称
・花月公園・黒部川入善公園
・入善町運動公園

●議案第五十五号入善町都市公園条例制定について

●議案第五十六号入善町体育施設条例一部改正について

●議案第五十七号字の区域の変更について(入善町東部土地改良区門山工区)

●議案第五十八号富山県市町村会館管理組合の設置について

●議案第五十九号入善町特別会計条例の一部改正について
今までの五特別会計に入善町育

英奨学金特別会計を加えるもの

●議案第六十号昭和四十九年度入善町育英奨学金特別会計予算入善町入籍山本正勝医師の寄附金一〇〇万円を奨学資金として町出身大学生の育英に充てる予算額一〇二二万円

●議案第六十一号入善町各種委員



議案研究会

金三三万円 桜井土建工業㈱

●議案第六十四号工事請負契約について(飯野地区道路整備工事)

契約金額 契約の相手方
金二六〇万円 桜井土建工業㈱

●議案第六十五号工事請負契約について(入善上原地区道路整備工事)

契約金額 契約の相手方
金三三〇万円 桜井土建工業㈱

●報告第四号寄附採納について
寄附件数 三十六件

●報告第五号専決処分第九号富山県市町村消防費じつづ金組合規約の変更について

●請願第十九号ないし請願第二十二号共同育苗ハウス突風被害による援助方請願ほか三件
常任委員長の審査報告通り採択

●選挙第一号黒東合口用水組合議会議員の選挙について
上野幸一氏(入善町入職)当選

●請願第二十三号工事発注指名願について

●陳情第四号し尿汲取委託料金値上げについて

●請願第二十三号請願第二十四号は関係常任委員会に付託し閉会中に慎重審査することに決しました

●議案第六十二号工事請負契約について(門山地区道路整備工事)
契約金額 契約の相手方
金三〇〇万円 水見土建

議会日誌	3月	4月	5月	6月
町村議会議長会定期総会(富山県市町村会館)	28日			
黒東地域合併協議会(入善町役場)	29日			
議会運営委員会	4日	4日	4日	3日
町村議会議長会研	22日	22日	22日	5日
修祝祭(広島県、香川県)	30日	30日	30日	3日
富山県東部議会議長会総会(黒部市役所)	17日	17日	17日	5日
富山県東部議会議長会	17日	17日	17日	5日
富山県先進地視察(福井県)	17日	17日	17日	5日
議員全員協議会	23日	23日	23日	3日
町内行政視察	31日	31日	31日	3日
下・中・新川郡議会議長会連絡協議会(宇奈月町)	31日	31日	31日	3日
議会運営委員会	3日	3日	3日	3日
議員全員協議会	5日	5日	5日	3日
第5回町議会議臨時会	10日	10日	10日	3日
下新川郡議会議長会研修視察(山陰方面)	10日	10日	10日	3日
新潟県柿崎町議会議員一行来町	17日	17日	17日	3日
議員全員協議会	20日	20日	20日	3日
産業建設常任委員会	21日	21日	21日	3日
議会運営委員会	21日	21日	21日	3日
第6回町議会議定例会(第一日)	24日	24日	24日	3日

六月定例議会のあらまし

●定例議会の経過と会議の内容は次のとおりであります。

第一日 六月二十四日(月)

午後一時四十三分から本会議を開き、会議録署名議員に十番金田利一議員十一番小林与三雄議員を指名し続いて会期を六月二十四日から二十七日までの四日間と決定いたしました。

次いで報告事項等があり第五回臨時会(六月五日)で閉会中の常任委員会付託となっていた請願四件は常任委員会の審査結果を産業建設常任委員長及び文教厚生常任委員長より報告があり各常任委員長報告の通り採択され次に昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第一号)など予算議案二件条例改正及び一部改正の条例議案七件工事請負契約締結案二件その他二件合計十四議案が上程され町長病氣不在のため助役より提案理由の説明があり質疑が行なわれました。その際議案第五十三号入善町国民健康保険条例一部改正については詳細な審査を要するものとして関係常任委員会に付託休会中に専門的な審査をなすことに決し、選挙案一件を上程可決その後町政全般に対する質問(七人)が行なわれ、午後四時三十五分散会しました。

第二日 六月二十七日(木)

午後一時二十八分本会議を開き議案第四十八号ないし議案第六十一号昭和四十九年度入善町一般会計補正予算(第一号)ほか十三件を一括上程し、さきに常任委員会付託とした議案第五十三号についての審査結果報告を総務常任委員長より報告があり討論があつて全議案は原案通り可決されました。次に議案第六十二号ないし議案第六十五号工事請負契約締結案四件が上程され質疑討論採決の結果全議案は原案通り可決されました。

次に請願一件陳情一件が上程されこれを常任委員会に付託し閉会中の継続審査とすることに決し、午後二時六分第六回入善町議会定例会を閉会いたしました。



行政視察中の議員一行(西中学校)

第五回入善町議会臨時会(六月五日)に上程審議された議案

(町長提出の事件)

- 報告第三号昭和四十八年度入善町継続費繰越計算に関する報告について
- 承認第二号専決事項承認について(専決処分第二号工事請負契約一部変更)
- 承認第三号専決事項承認について(専決処分第三号昭和四十八年度入善町一般会計補正予算第六号専決処分第四号昭和四十八年度入善町国民健康保険特別会計補正予算第五号)
- 承認第四号専決事項承認について(専決処分第六号入善町税条例の一部を改正する条例)
- 承認第五号専決事項承認について(専決処分第七号入善町の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)
- 承認第六号専決事項承認について(専決処分第八号昭和四十九年度入善町国民健康保険特別会計補正予算第一号)
- 議案第四十五号工事請負契約について(田茂川河口吐口災害復旧工事)
- 議案第四十六号工事請負契約について(入善町立入善西中学校給

(議員提出の事件)

- 議案第四十七号昭和四十八年度議決第四十二号工事請負契約一部変更について(入善町立入善西中学校新築工事)
- 議員提出議案第二号昭和四十九年度産米価に関する決議

以上の報告一件承認五件議案三件議員提出議案一件は何れも承認可決と決しました。

(請願)

- 請願第十九号共同育苗ハウス突風被害による援助方請願 (提出者)入善南部育苗センター 組合長 舟川周陸外十一名
- 請願第二十号町道舗装方請願 (提出者)入善町柳原区長
- 請願第二十一号簡易水道新設事業に対する助成方請願 (提出者)小摺戸第一水道組合 代表 寺林武雄
- 請願第二十二号簡易水道新設事業に対する助成請願 (提出者)入善町十七区水道組合 (提出者) 岡田 忍



行政視察中の議員一行(入善漁港)

25日	総務常任委員会
27日	第6回町議会定例会(第2日)
7月	
8日	議会運営委員会
10日	文教厚生常任委員会
13日	総務常任委員会
15日	東洋紡績入善工場視察 第7回町議会臨時会

町政一般質問



上島議員

町財政の現況を問う。

一、予算編成時に比較して現在財政事情に大きな変化はないか。
 二、総需要抑制策などで一層町財政の逼迫が予想されるが、人件費等の中大な増額にどのように対処するか。
 三、建設中の西中学校などの国の基準面積単価に対する多額の超過負担をどうするのか。
 四、農村総合整備モデル事業の経費が減額されるようなことはないか。

か。

助役 総需要抑制という国策の下での予算編成は非常に困難であったし海岸保全や農村総合整備モデル事業に与える影響は大であるが事業費の確保に最大の努力をする。奉斗後の人件費の大増額については、地方交付税を主な財源とし、諸経費の節減によって乗り切りたい。

企画財政課長 現在すでに農村総合整備モデル事業と海岸保全事業で合計一億五千万円減額の見通しであり、今後の歳出では人件費一億五千万円道路補修その他二千万円国保会計繰出金など三千万円合計二億円程度の補正が必要と思われるが、交付税その他で財源を確保して行きたい。中学校建設事業をはじめ保育所の経営農業委員会国民年金事務などの超過負担が全廃されることと今後の大きな課題であると思われる。



小林議員

小学校統合を

具体化できるか。

一、建設中の統合西中学校の全容が姿を現してきたが素張りしいと思ふ。
 二、建設中の三校の跡地の利用計画と、小学校の危険校舎の改築計画などが出来ているか。

三、町総合計画に従って昭和六十年までに小学校の統合を行うことが可能であるか。
 四、運動公園の管理計画を問う。

助役 三、運動公園使用については無料とし、町内外を問わず利用に供し、最大の効果を挙げたい。設備は逐次整えて行くこととし管理は教育委員会で行う。

教育長 一、中学校の跡地については具体的検討を急いでいる。
 二、小学校の統合は、農村総合整備

モデル事業や、コミュニティづくり等を勘案し年々検討している。危険校舎の応急処置はしているが、近く専門委員会をつくって全体的な検討を行わない作業を進めたい。

企画財政課長 二、総合計画は四十八年度に策定されたが、その後ドルショックや、建築資材の高騰、超過負担の増高などのため校舎の改築、統合は困難となり計画の手直しが必要となっている。



福沢議員

基盤整備した圃場内にある

電柱の撤去を図れ。

一、基盤整備した圃場内にある電柱が、農作業に大きな支障を与え且つ安全を脅かしている。これを撤去する対策はないか。

三、高速自動車道の進捗状況が知られないため、町民が不安を感じている。当局の考えを問う。

助役 一、農村整備モデル事業の全体計画は決定している。この事業の中でとり上げることは出来ない。電柱の撤去移転は基盤整備事業の実施中に解決すべきであったと思うが、今後は北陸電力に強力で申し入れるなど対策を考慮する。

二、高速自動車道は町を南北に二分するなど行政にも支障があるので町内を高架方式で通過するように公園側と話し合っているが意見が一致していない。今後更に交渉を続けて行きたい。



行政視察する議員一行（黒部川河川整地公園）



岩場議員

生活保護世帯に

インフレ手当を。

「今日の社会経済情勢からみて、町は生活保護世帯にインフレ手当を支給し、併せて児童手当を



柏原議員

保育料を安く

出来ないか。

一、天然記念物沢杉林周辺道路の補修が不十分であり、これは地元との約束に違反している。
二、新設された運動公園の砂塵防止策があるか。
三、市街地のごみ収集の回数が減ったことにより、川へ捨てる者が多くなったのではないのか。
四、保育料は法律の規制により安く出来ないと言ったが、県内市町村の中には基準額より安いところ

増額する考えはないか。

三、健康センター、保健婦センターの充実を図り、特に乳幼児の虫歯予防対策として、歯科保健婦を配置出来ないか。

助役 一、インフレ手当、児童手当ともに県下では支給増額している市町村はない。町は年末に見舞金を支給している。
二、センターの充実強化を図ることは勿論であり、虫歯予防については、昭和四十七年度から二才児に重点を置いて、全保育所の乳幼児の検診を実施している。

健康会議で計画し、医師会の協力を得て、四十九年度からはフツツによる予防を実施すること



金田議員

畜産公害の

処理対策はあるか。

一、畜産経営などが逐年大型化し、これに伴ない排せつ物に依る公

にしている。

害が生じている。施設改善指導対策を示せ。

助役 一、施設の改善指導と補助は昭和四十四年度から実施している。四十八年度には県事業で三施設が改善され、四十九年度には養豚施設二箇所を申請している。資金については農業近代化資金のほか四つの資金制度があり充分利用していただきたい。

二、畜産経営などが逐年大型化し、これに伴ない排せつ物に依る公害の指導をしたい。最近飼料添加物に依り公害防止が成功しており、町でも試験の上将来これを普及したいと考えている。

ごみ処理に強力な対策を。

一、ごみの投棄に依る農業用水及び排水溝の汚染は目に余るものがある。夏季には悪臭の懸念もある。対策はあるか。
二、畜産を振興するために、飼料の自給を指導する対策があるか。

助役 一、生活の向上と都市化に依るごみの増大と中小河川に投棄することを防ぐためには、ごみ

ろがある。当局の見解を示せ。
助役 一、沢杉周辺道路の補修については土地改良区との話し合いがつかなかったことなどもあって迷惑をかけ申しわけない。今後は敷砂利などによる補修を行ない要望にこたえて行きたい。
二、運動公園の砂塵は整地した直後なのでどうにもならないが、今後対策を考えて行く。けやきの植樹は取り止めて、こぶし、ヒマラヤ杉などに植えかえることにする。

と協議し、了解済みである。回数を増やすことは現在保有する車輛数、人員、収集区域の拡大などにより困難であるが今後充分検討させていただきたい。
四、「保育料は法律で規制されている」と答弁したことは訂正する。国は保育料の基準を示しており市町村の財源等に依り差額が生ずるものと思う。入善町は一般会計で四千万円の支出をする。又保育所の数においても県下で最も多い町であることなどを考慮の上御理解願いたい。

二、自給飼料の栽培が定着するためには畜産農家の自覚が必要である。従来は稲作転換特別対策事業を通じて奨励し、今後は国の飼料作物生産振興対策事業の指定を受け、関係者と協議して対処したい。尚、町の助成については十分検討する。



五十里議員

常任委員 長 報 告

六月臨時、定例会における各常任委員会は、六月二十日産業建設委員会、六月二十一日、七月十日文教厚生委員会、六月二十五日、七月十三日総務委員会等が開かれ付託された各案件を慎重審査の結果いずれも原案どおり可決されました。各委員会における主な要望、意見は次のとおり。

△産業建設委員会

一、育苗ハウスの災害については資材高騰に伴ない農家の打撃は大い早く援助され生産に支障のないよう指導されたい。

二、町道の舗装については計画に基づき効果的に実施してもらいたい。

□文教厚生委員会

簡易水道組合の助成については一、最近地下水位の低下は確かだ将来の上水道計画はさることながら、簡易水道組合に対して当局は実態を把握され従来どおり助成されると共に、施設の衛生管理の指導されたい。

◎総務委員会

二、し尿汲取委託料金について物価高騰に伴い料金の値上げは止むを得ないとしても他市町との均衡もあり充分検討して実施されたい。

国民健康保険税条例の改正については、
一、税の賦課割合は実態からして適正であり、課税に充分留意されたい。

二、国保の赤字は予想されるが無駄な受診が非常に多いのではないかと、今後医師会と相談され無駄な受診をなくするよう努力されたい。亦相互扶助の精神に反しないよう繰入を充分考慮して国保の運営指導されたい。

三、請願第二十三号については、請願書の内容面にはいささか不適当な字句も見つけられるが趣旨は充分理解できるので工事発注指名については従来どおり一層遺憾のなきよう要望します。

第七回入善町議会臨時会（七月十五日）に上程審議された議案（町長題出の事件）

●議案第六十六号工事請負契約について（舟見地区道路及び水路整備工事）

契約金額 契約の相手方
金二四一〇万円 内島組

●議案第六十七号工事請負契約議決事項一部変更について（入善町立入善西中学校新築工事関係）

●議案第六十八号工事請負契約について（入善町立入善西中学校新築工事関係）

目的 暖房衛生設備工事
契約金額 契約の相手方
金三七九〇万円 鈴木工業

以上の三件は原案通り可決されました。

（請願）

●請願第二十三号工事発注指名額について 閉会中審査された結果委員長報告の通り採択

（陳情）

●陳情第四号し尿汲取委託料金値上について閉会中審査された結果委員長報告の通り採択されました

（本臨時会に提案された請願）

●請願第二十四号第二十三回富山県青年大会議致に対する助成金交付に関する請願

（提出者）入善町連合青年団 団長 杉本信一

即日採択されました

視察報告

一、四月二十二、三の両日
二、主催 富山県町村議会議長会
三、視察地 香川県 大野町 広島県 多渡津町

◇香川県多渡津町の概況

一、面積 二二、四〇km²
二、人口 二〇、七二〇人
三、就業者一〇、一九〇人

内訳 第一次産業三〇、〇％
第二次産業二五、〇％
第三次産業四五、〇％

四、農家数 一、六七五戸
内訳 専業農家 一六、二％
一種兼業 二六、〇％
二種兼業 五七、八％

五、耕地面積 九、七三〇ha
内訳 田 七三、八％
畑 一五、〇％
樹園地 一一、二％

六、一般会計予算（昭四九）
総額一億七四四四万円
特別会計予算（昭四九）
総額十六億八三九六万円

この特別会計のなかに臨海土地造成費が十三億六七五七万円含まれているのが特色と思われま

広島県大野町と同様、多渡津町も風光明媚な瀬戸内海に面している。この町の特徴は、何と云っても、海岸埋立に依る大規模な土地

造成であろう。以下概要を記すと次の如くである。

一、臨海土地造成事業経緯

○事業計画樹立四十四年四月

○埋立免許申請四十四年十一月

○事業免許 四十五年十月

○着工 四十五年十二月

○竣工 四十九年二月

○埋立事業面積 一八九万九七一㎡

○事業費総額 一一〇億七〇〇万円

二、土地利用計画
○護岸用地 四万七八八〇㎡
○道路用地 一四万一七八九㎡
○工場用地 一五四万三四四二㎡
○住宅用地 一二万二五七六㎡
○公共野球場 一万九四八八㎡
○緑地 一万九四八八㎡
○防波堤敷地 三二五五㎡
○岸壁用地 一六二九㎡

多渡津港を中心として両翼にA、B両地域を設定し、すでに三十五社の誘致が決定しています。

特に印象的だったのはB地区5の広大な敷地は福野町出身の川田工業が進出し、すでに大工場が操業しています。私達が訪問した暫らく前に香港へ大橋梁を輸出したということでした。

大工場が完成の晩には世界最大の橋梁メーカーを目指していると断言する幹部の方々の意気ごみに感激したのは私だけではなかったと

思います。また海岸汚染や漁業補償などについての関係者の苦勞も充分うかがえました。

◇広島県大野町の概況(昭四八)

一、面積 七〇、三二km²

二、人口 一六、三五三人

三、就業者七、四七八人(昭四五)

四、内訳第一次産業一七、五%

第二次産業四一、一%

第三次産業四一、四%

五、農家数 七〇六戸

六、内訳専業農家 五、九%

一種兼業 四、一%

二種兼業 九〇、〇%

七、耕地面積 一、九六七ha

八、内訳 田 六〇、三%

畑 二八、五%

九、樹園地 一一、二%

十、六一般会計予算(昭四八)

総額十八億五五〇万円

歳入の内、特色として諸

収入が五三、六%を占め

ている。

特別会計予算(昭四五)

総額二億八五〇〇万円

瀬戸内海に面する風光明媚な環境と、広島市へ二五km、岩国市へ二〇km、自動車で三〇分という立地条件の町であり、広島県西部プロックにおけるベットタウンとしての発展を目指している。

路、上水道の整備、教育施設の充実と福祉対策、産業振興に大いに意欲を燃やしている町であるという印象を強く受けました。



多渡津町臨海工業埋立地

すぐ目の前に浮んでいるのが有名な安芸の宮島で、多勢の観光客はすべてこの町の船着場から発着するのです。

町役場でいろいろ町勢について説明を聞きましたが、六五才以上のおとしりの方々と、三才以下の子供たち、心身障害者の医療費は全部無料であり、町出身の高校生大学生たちにも多くの支度金を交付するなどの援助をしているようでした。

またこの町の一般会計予算に、諸収入五三、六%とありますが、これは大野町の海岸に町営の競艇場があり、その収入がほとんどで立派な観覧席も完備していました。町名ははっきりしませんが、バスの窓から町営で素晴らしいデイズニールランドを経営しているのも見ました。いづれにしてもこの地帯はレジャーブームの中で、目を追って大きく変貌して行くのではないのでしょうか。

宿泊地は広島市平和公園の近くの旅館でしたので、原爆記念館の見学もさせていただきました。

と残酷さに改めて強い憎しみと、平和を心に念じたのでした。



美浜原子力発電所全景

◇関西電力美浜原子力発電所

視察報告

〇五月一七日

〇富山県東部議長会

敦賀半島には二つの原子力発電所が有りますが、その内の美浜発電所を視察させていただいた。

信頼性及び経済性が著しく向上し、欧米諸国に於て驚異的な進展を示しているといわれます。白砂青松のおだやかな海岸から対岸の半島に建設されている原子力発電所を眺めますと、その偉容は実に素晴らしいものであり、出力一六六万六〇〇〇KWの発電所内部と、整備された周辺の施設など、時代にふさわしいと感じさせます。

発電所のPRセンターで放射能の説明などを行なっていました。私達がレントゲン写真を撮影する際に受ける放射能が、発電所の放射能よりはるかに多量であることが聞かされ一同びくつきさせられました。また発電に要する経費も火力水力に比較して安値であるという事です。

公害の有無などについて排水地点を見ましたが、排水温度は少々常温より高いようで、澄み切った海水の中で、大小の魚が群がって泳いでいるのを見て皆一様に安心しました。

- 一、花崗岩質で地盤のよいこと
 - 二、良質の水が豊富であること
 - 三、温排水処理のため、附近に川があること
 - 四、半径七〇〇m以内に人が住んでいないこと
- などが必要条件であるということでした。

